

## 【活動報告】

神奈川の身近な自然を訪ねて ～梅の2月、曾我の里の自然と歴史を訪ねる～

日時：2024年2月10日(土) 14日(水) 9:30～14:30

場所：小田原市

参加者：一般 41名（10日 22名、14日 19名） スタッフ 11名

御殿場線の下曾我駅に9:30集合。まずは宗我神社に向かいます。途中小田原が生んだ小説家尾崎一雄の墓に寄りました。酒豪の小説家の墓にはいつもウイスキーの瓶が置いてあります。宗我神社境内にはケヤキの大木があり枝にはヤドリギがいくつも着生していました。特に14日に訪れた際には枝に多くのヒレンジャクが集まっていました。神社を出てすぐの市川農園では湘南ゴールドなど柑橘類を販売していて参加者の多くがそれら柑橘類を買いました。それから曾我氏所縁の法輪寺を経て曾我館址に行きました。現在は梅林や畑になっていますが何故か中世武士達が生活していた空気を感じました。

そこから少し下った処に太宰治の愛人太田静子が斜陽日記を書いたという、ある実業家の別荘があり太宰はそこを度々訪れその日記をヒントに小説『斜陽』を書いたと言われます。しかし2009年にその別荘は火事で焼失し今は荒れた草地になっています。

その先の城前寺には曾我兄弟の墓があります。寺の前からは富士・箱根・相模湾の大パノラマを眺めることが出来ました。

お昼は梅まつり会場になっている別所梅林で梅の花を観ながら食べました。午後は曾我兄弟の生母である満江御前の墓、満江御前が住んでいた下屋敷址、そして二宮尊徳の遺髪塚を辿り下曾我駅に無事到着、解散しました。

2日間とも良い天気に恵まれ、特に14日は梅の花の先にある真っ白な富士を眺めながらの観察会でした。

(鈴置記)



宗我神社のヤドリギ



宗我神社境内



市川農園



曾我城（館）址



城前寺前からの山並パノラマ



曾我兄弟の墓（城前寺）



別所梅林